



小泉神社 (大和郡山市)



小泉神社は大和郡山市のかつての小泉藩の陣屋

の一角に建っています。祭神は素戔嗚命と誉田別命です。室町時代の明徳・応永年間にこの地域の守護神として祭ったことが始まりです。

本殿は一間社春日造、檜皮葺で、室町時代末期の造営と推測され、国の

(住所) 大和郡山市小泉町2333
(祭神) 素戔嗚命、誉田別命
(交通) JR大和小泉駅下車徒歩約15分

(拝観) 自由
(駐車場) あり(台数に限りあり)
(電話) 0743・53・0233

室町時代からの守護神

重要文化財に指定されま片桐且元の弟である貞隆行われていました。午後した。また小泉神社に伝えられる女神像は本殿よりさらに古い平安時代の作と推測され、市の指定文化財になっています。桐家とのゆかりの深さが感じられます。

毎年10月のスポーツの日(前日)に秋の例祭が執り行われ、神事では、茶道でも有名な片桐家によって以前は献茶の儀が執り

ぶ様子から当社の崇敬のあつさがうかがえます。(奈良まほろばソムリエの会会員 横山真紀子)